

会 議 録

会議名	第五次行財政改革大綱住民説明会			
開催日時	平成24年2月10日(金)午後2時00分から			
場 所	役場 第6会議室			
出席者 (敬称略)	事務局)小沢総務課長、向山教育次長、百瀬社会福祉協議会事務局長、野澤保健福祉課長、一ノ瀬まちづくり政策課長、一ノ瀬まちづくり政策課課長補佐、平泉行財政改革係長、殿内上級係員		出席人数	
			住民	22人
			町	8人
		計	30人	
会議次第	1. 開 会 (3). 質疑・応答、意見聴取 2. あいさつ 4. その他 3. 説明 5. 閉 会 (1) 経過説明 (2) 第五次行財政改革大綱(案)と大綱推進プログラム(案)について			
資 料	(配布資料) 次第、第五次行財政改革大綱(案)、第五次行財政改革大綱推進プログラム(案)、 体系図、中期財政見通し、用語集			
会議結果	第五次行財政改革大綱(案)、第五次行財政改革大綱推進プログラム(案)について住民の皆さんから意見を頂戴しました。			
発言者	発言の内容			
一ノ瀬課長	開会			
小沢課長	<p>みなさんこんにちは。県の町村会、広域連合の会議と重なり理事者が出席できませんので、代わりに一言ごあいさつ申し上げます。本日は大変お寒い中を第五次の行財政改革大綱の説明会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。現在、国では地方分権を進めておりますが、地方におきましては今後も厳しい財政状況が予想されております。そんな中で足腰の強い行政運営を目指していかなければならない宿命にあります。先だって町では第五次総合計画を作成し、その中で「かけがえのない自然と共生し、町民と事業者の皆さんと行政の協働によるまちと活力と暮らし」づくりといったビジョンに向けての計画を策定しました。一方では簡素で効率的な行政運営を進めていかなければいけない中で検討を進めてきております。現在は町民と行政の協働のまちづくりによる住民サービスの向上と行財政の健全化という二つの課題に向かって行財政改革プログラムの策定を進めております。そんな中で本日は住民の皆さんのお声をお聴きする機会ということで設けさせていただきました。本日を2回明日1回計3回集中的に開催させていただき、その後行財政改革推進委員会の皆様方にご審議いただく中で、策定をしていきたいと思っております。本日は説明をお聞き取りいただき、忌憚のないご意見を出していただきこの計画に取り込ませていただくようよろしくお願いいたします。</p>			
一ノ瀬補佐	(1) 経過説明、(2) 第五次行財政改革大綱(案)と大綱推進プログラム(案)について			
向山次長	<p>行革大綱9pの下段に給食業務の集中化及び民間委託への検討と出ておりますが、昨年末から教育委員会で具体的に中学校の給食業務の民間委託について提案をしましたが、PTAの皆さんから少し説明不足だご指摘をいただいております。プログラム上では平成24年からとなっておりますが、PTAの皆様は説明を尽くす中で進めていきたいということで実質平成24年からの実施は難しいと思っております。この場を借りてご説明させていただきたいと思っております。学校給食業務の民間委託と言っておりますが、調理業務について民間委託となり、保護者の皆様からいただいている給食費は、給食の食材に充てるということでその部分に変更ありません。献立は町あるいは県の職員の栄養士が担当しており、その部分も変更ありません。献立を立てる、その献立に基づいて作る給食についても一切変わりません。栄養価・おいしさ・地産地消の問題も一切変わらないと考えており、そこで調理する方が町から民間の従業員に変わるところが変化するだけで、給食の質や安全性等については今までどおりの水準を保てると考えておまして、今後も説明会を開催する中でご理解いただきながら進めていきたいと考えております。せっかくの機会ですので、ご説明させていただきました。その他どんな事でも良いのでお出しいただければと思います。</p>			

住民A	23の「米寿の方のお祝いに記念品の贈呈」についてお聴きします。そのくらいの年齢の方にお花をあげても、管理する方がいないと枯れてしまうので本人の欲しいものを把握して、形だけ行うのではなく、優しい気持ちと心を沿えていただいた方がよろしいかと思いますが、いかがでしょうか。
野澤課長	以前にお祝いの内容を変えた経過もあります。私もそういった気持ちが大切かと思しますので、その辺も含めて検討させていただきたいと思います。継続的に実施していきたいと思えます。
住民B	本日初めて資料を見させていただきましたが、すぐには内容が分かりません。インターネットにはこの内容が載っていますか。
平泉係長	町のHPの行財政改革を見ていただくと、載っております。
住民B	この内容がすべて載っているということですね。また、役場の町民ホールにもアンケートがありましたよね。
平泉係長	パブリックコメントということで、役場、小野の介護予防センターにて書き込んでもらい箱に入れていただくようなシステムです。
一ノ瀬補佐	今の件について補足させていただきます。現在は案の段階で諮問中です。先ほどのHPの話ですがパブリックコメントという事で2月6日まで掲載されておりましたが、一旦閉じさせていただきました。こういった説明会を踏まえて最終的に成案化していきますので、よろしくお願い致します。
一ノ瀬課長	パブリックコメントでは4人の方から意見をいただいております。
住民C	50番ですが病院の進捗状況を考えたときに取り組みが遅いと思います。間に合いますか。
一ノ瀬補佐	現在考えているのは、現在運行している川島線については開院に合わせたルート変更を第一に考えております。6月までに町全体のビジョンを立て、その中でもっとも効果的な方法を選び、開院に間に合わないかもしれませんが、進めて参りたいと思えます。
一ノ瀬課長	補足ですが、27名の委員さんに集まいただき、地域公共交通会議を開催しております。現在町内1,500世帯対象にアンケートをとり集約作業を進めております。また、団体へのヒアリングを行い町の交通に対する意向調査も行っております。それで、3月末には概ねの方向を決定したいと考えております。先ほど6月と申し上げたのは国の補助金を獲得するには、6月までに申請をあげなければいけない状況です。先ほどご指摘いただきましたが、平成24年度内には新しい公共交通の体系を構築できるように進めていきたいと考えております。
住民D	赤羽は宅地として開発して半分以上売れ残っている土地があります。もう一つは町営住宅も10年以上放置されており、地元としては、宅地で売るとか何か考えて欲しいと思えます。宅地事情も10年前と変わっておりますが、町としていつまでも抱えず対応して欲しいと思えます。荒神山については将来の計画は分かりませんが、町営住宅を含めて、地元としては更地にしたり空き住宅がそのままになっているのも困りますので検討をお願いします。
一ノ瀬課長	新金寺付近の宅地については、売れ残っていてなかなか売れないような状況です。それについては、各不動産業者回りと近くのアパートにチラシを投げ込むなどしてPRしておりますが、なかなか売れないのが現状ですので、私共も皆様方のお知恵をいただく中で積極的に取り組んでいきたいと思えます。町営住宅については赤羽の信号機のことでしょうか。
住民D	荒神山と信号機のところです。
一ノ瀬課長	建設水道課が担当ですが、荒神山については、老朽化も激しいのでそこに住まわれている住民の方と相談する中で対応していきたいようですので、その旨担当課へ伝えたいと思えます。

住民E	<p>項目については細かくて一向にわかりません。基本的な事ですが、この推進プログラムを実行していただければ5年後の27年には、かなりの変化が町の中で感じられると思います。過去四次で実施してきた、A評価が80数パーセントということですが、住民がどういう面でどの位住みやすくなったのか、実感を住んでいる方が感じられるのか。私はあまり感じられないものですから、計画だけ作って終わってしまっている気がしてしょうがないです。私たちが会社で計画を立てる時は、具体的な取り組みが方針であり、実際の年度別プログラムはもっと細かいです。一つ一つの項目に誰がどのくらい実行するのか、数字であれば何パーセント減らすのかといった事をしっかり行い、その評価をきちんとしないと、パワーをかけて良い計画を立てても、最後のチェックをしっかりとやらないと無駄になってしまうと思います。結果の公表を自信を持ってやっていただきたいと思います。計画自体は大変結構な計画だと思えますが、我々住民が町の人たちによくやってくれているなど実感できるような計画にしていきたいと思えます。</p>
一ノ瀬補佐	<p>プログラムの基本方針をご覧頂きたいと思えます。最初に説明を省略してしまいましたが、ローリング方式という言葉が出てきます。PDCAサイクルを回して毎年繰り返して行くことです。今後このプログラムに沿って毎年繰り返していきながら、本部会、推進委員会に報告し、意見を求めると共に広く公表していきたいと思えます。分析の方法につきましては、民間企業では詳細的な数値を目標としていると思えますので、そういった部分も今後勉強していきたいと思えます。</p>
一ノ瀬課長	閉会